

“Come, Come, Everybody”
津川地域未来創造事業
実績報告書（令和4年2月
28日現在）
～津川の未来へカムカム
エヴリバディ～

平川 冽（故人平川唯一氏次男）
来津川小学校記念写真より



事業実績の スケジュール （今後予定含む）

○第1回津川地域未来創造研究会会議

- ・8月6日（金）研究会メンバーに事業内容説明および部会名・部会ごとの会議日程調整

カムカム公園整備部会

- ・8月22日（日）カムカム公園において今後の作業内容、日程等打ち合わせ
- ・9月12日（日）竹柵の竹切り出し・防球ネット設置
- ・9月19日（日）竹柵の横竹設置・休憩所ペンキ塗り・石垣補強修繕
- ※参加者：今津育成会・八川青年会・近隣町内会・その他有志で延べ約70名

看板リーフレット作り部会

- ・8月10日（火）事前に用意した、看板、リーフレット等の内容精査及びNHKロゴ使用についての許可等（市観光課に協議依頼）
- ・9月1日（水）看板等のカラー印刷物にて再度内容協議
- ・9月14日（火）NHKからの回答及び前回のデザイン修正等について協議。又、看板設置場所としての木野山駅構内の事前協議以来を市観光課に依頼。
- ・9月27日（月）看板、リーフレット、ポスター、のぼり旗のデザインをNHKの許可範囲内で作成する。
※看板設置の許可協議難航のため、国道180号線沿線（個人所有土地）に設置した。

ニーズアンケート部会

- ・8月16日（金）町民へのニーズアンケート事前お知らせ配布
- ・8月26日（木）アンケート内容検討及び回収までの日程協議
- ・9月中作業として、配布名簿の作成、配布日を9月15日町内配布物と一緒に配布
- ・10月～12月にかけて回収したものを集計、内容検証
- ・1月～2月でアンケート内容グラフ化及び部会員の意見徴収
※今後の作業として、町民へのアンケート結果の配布物による周知を行う。（4月中）
又、高齢化を迎えた課題が多くある中で、町民が望んでいる各種講座、地域保全事業の実施を令和4年度に実施する考えである。

小学校への出前講座部会

- ・9月3日（金）津川小学校において、平川唯一氏の子冽さん講演前に津川歴史同好会会長による、平川唯一氏の生い立ち及び時代背景等々講演を行った。
※今後も津川地域には多くの偉人がおられることから、随時検証および出前講座の開設を行う。

青空教室交流部会

- ・コロナ禍での開催是非について検討しましたが、やむなく本年度内開催を中止といたしました。
※令和4年度コロナ禍感染状況を見ながら、青空の下で異文化交流と合わせ行うことを計画する。

その他

- ・本事業を展開したことで町民各位の地域の偉人・地域の名称等々色々今一度考える機会があったと伺えました。又、NHKはもとより地域の吉備ケーブルテレビ各社に津川の偉人が取り上げられたことに多くの反響がありました。今後も地域PR及び津川地域の活性化を図り未来に希望持てるまちづくりを展開いたします。

1. 地域の状況や町民ニーズアンケートについて

1-1 (アンケート配布及び回収率等)

- 配布人数 (対象者：中学生以上、一部外国人含む) 1,055人

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	小計	年代未回答	計	中学生	外国人	合計
男性	7	13	20	43	30	65	62	42	282	2	284	13	0	297
女性	17	17	20	36	40	63	66	52	311	1	312	16	6	334
小計	24	30	40	79	70	128	128	94	593	3	596	29	6	631
性別未回答	0	0	2	5	5	8	8	18	46	0	46	0	0	46
合計	24	30	42	84	75	136	136	112	639	3	642	29	6	677

回収率集計表

名称	10代	20代～80歳以上	小計 (一般)	中学生	外国人	合計
配布数 (人)	111	909	1,020	29	6	1,055
回収数 (人)	24	569	593	29	6	628
回収率 (%)	21.6	62.5	58.1	100	100	59.5

* 配布数は町内会に加入している世帯を対象とした。

* 配布数は、9月1日現在で住民表に記載された数値を使用した。

* 中学生・外国人は津川町内生徒及び在住者とした。

* 回収率は性別及び年齢不明者は除いた数値とした。

1 - 2 (アンケート結果精査状況について)

アンケート質問結果より (回答者数593人)

Q: あなたは今後も津川町に住みたいと思いますか? (複数回答可)

A: 強く思う・そう思う⇒65.5%

あまりそうは思わない・全くそうわ思わない⇒20.8%

わからない⇒13.7%

(複数回答614を100%ととして)

*考察: 若い人特に20歳代の方は67%住みたくないの回答でした。

住みたくないとの原因的要素を今後アンケート質問回答から検証中。

1 - 3 (アンケート結果精査状況について)

- アンケート質問結果より (回答者数 575 人)
- Q: あなたは自分の子ども (孫) に津川町に住んでほしいと思いますか?
- A: 強く思う・そう思う ⇒ 37.9%
- あまりそうは思わない・全くそうわ思わない ⇒ 40.2%
- わからない ⇒ 21.9%
- * 考察: 全世代において否定的な回答が多い。

1 - 4 (アンケート結果精査状況について)

- アンケート質問結果より (回答者数 582人)
- Q: あなたは津川町のまちづくり活動・事業にどれくらい関わっていますか?
- A: 良く関わっている・まあまあ関わっている ⇒ 44.5%
- あまり関わっていない・まったく関わっていない ⇒ 55.5%
- わからない ⇒ 21.9%
- * 考察: 全世代において否定的な回答が多い。

1 - 5 (アンケート結果精査状況について)

- アンケート質問結果より (回答者数 5 2 6 人)
- Q: これからの津川について、どの考え (思い) に近いですか?
- A: 住民が知恵お出し合い、行動 (活動) すれば、地域は今より元気になる。⇒ 3 6. 1 %
地域が廃れていくのは時代の流れであるから仕方がない、住民だけではどうすることもできない。⇒ 3 3. 3 %
わからない⇒ 3 0. 6 %
- * 考察: 全世代においてばらつきはあるが否定的な回答が多い。

1-6 (アンケート結果精査状況について)

- アンケート質問結果より (回答者数 523人・514人・517人・500人)
- Q: あなたの現在の生活の中で、困りごとの度合いはどの程度ですか?
 - 通勤、通学、買い物、病院等の移動について
 - A: 大変困っている・時々困っている⇒27.7%
あまり困っていない・全く困っていない⇒71.9%
 - 住居、家屋、農地、土地の保全維持管理について
 - A: 大変困っている・時々困っている⇒51.8%
あまり困っていない・全く困っていない⇒48.2%
 - 災害発生時の安全対策について
 - A: 大変困っている・時々困っている⇒52.2%
あまり困っていない・全く困っていない⇒47.8%
 - 住町内会組織への対応 (輪番制役員など) について
 - A: 大変困っている・時々困っている⇒45.0%
あまり困っていない・全く困っていない⇒55.0%

* 考察: 高梁市街地に近い津川町での回答である。しかし、八川地区山間部においては回答値が反比例していると検証しています。

1 - 7 (アンケート結果精査状況について)

- アンケート質問結果より (回答者数 514 人)
- Q: 公民館 (まちづくり) に新しくクラブや同好会があれば
住民相互 (子供をも含め) と交流しながら「参加したい」「活動したいものがありますか? (複数回答)
【希望の多かったものを以下に記載しました】
- 手芸・麺打ち・お菓子作り・パソコン、スマホ教室・園芸・習字といった
要望者が多くその他たくさんの講座希望がありました。

* 考察: 既存の自主講座【ヨガ・銭太鼓・カラオケ・グラウンドゴルフ・ゴルフ・ふるさと品生産同好会 (炭焼き) ・気功等】・以外にも15講座要望がありました。今後、要望者数の多いものから講座開設を企画することとしています。

1 - 8 (アンケート結果精査状況について)

- 津川町の将来やまちづくりについての意見や提言への自由意見を抜粋したものを以下に記載しています。
- 30代：小学校の時から、まちづくり等の教育活動をしないと、大人になったときに津川町から住民が出ていくと思う。活動はしていると思うが、活動内容が伝わってこない。町民全体で活動するようなことができればと思う。
- 40代：公園、市営住宅の整備（駅近く）・空き家は解体して宅地にして若者へ駅近くアピール
・木野山駅経由のバス・名産品を作る（カムカムエヴリバディ）を活用
- 50代：高梁市街地に近い町であり、電車も通っているなど決して住みにくいとは言えない場所であると思う。町内への転入等住民を増やすためにも、今津（駅まで歩いて行ける範囲に）に分譲地を整備し活性化を目指してはどうか。また、町内180号線 沿いに「道の駅」を整備し地元野菜等を販売するとともに住民の雇用に繋げてはどうか？。
- 60代：将来の津川を担う小学生、中学生に楽しい思い出が作れるような活動・事業を増やしていただきたい。地域特産の食べ物も味わってもらおう企画も加えたい。ピオーネ、アユの塩焼き、栗ご飯、いのししBBQ、特産野菜のピザ、etc。
- 70代：年1回程度この様なアンケートを継続して、住民の総意で新たなイベントに結び付けていく。休耕田を利用した花いっぱい運動の推進
- 80代：病院に行くのに不便である。子供たちにばかり頼れない



事業実施写真（カム
カム公園整備状況）



NHK取材風景写真（公園に行く途中及び公園）



NHK取材風景写真（平川唯一氏生家「伐明様宅」）



津川小学校のNHK取材状況 その1



津川小学校のNHK取材状況 その2



出前講座（津川小学校体育館にて）



平川冽氏（故平川唯一
氏次男）
津川小学校表敬訪問

2. 事業効果と目標

- 郷土の偉人を地域内外へ広く検証することにより地域づくりの機運が高まった。
- 地域ニーズアンケートの結果より、地域リーダーの掘り起こし、地域ニーズ実現、今地域住民が何を望んでいるのか、何をすべきか、何をやめることを検証する機会が得られ、地域住民一人一人の意識改革ができたと思っています。
- 地域の活性化、地域振興、地域観光、次世代の子供たちを育み育てることが、地域活力の呼び起こしになりました。

※今後の目標：・子育て世帯のさらなる地域づくりへの参画

- まちづくり事業の洗い出し及びまちづくり推進委員会 組織再編成
- 地域荒廃地の利用促進等々



3.事業完了後の取り組み

本事業を行うことで、地域づくりへの関心を高める効果が得られると増した。この気運の高まりを、次世代へ繋いでいくために地域未来を見据えた津川地域のまちづくりビジョンの計画策定に向けた足掛かりへととして継続的に繋げていきたい。

今後の取り組みについて

1. 津川地域未来創造研究会の継続を行います。
(津川地域まちづくり推進委員会とコラボ)
2. 次世代の子どもたちに向けた小学校の総合学習講座継承及び地域学校本部事業との協働作業を通じるとともに、異文化・異地域間交流を図ります。
3. 地域ニーズ・地域リーダーとの連携（外国人居住者、市外来訪者含む）による地域活性化の促進を図る企画運営の継続を行います。
4. 1～3を行うことで、津川地域はもとより、他地域の活性化にも波及するよう取り組んでいければと思っています。



※ 最後に皆さんありがとうございました。ぜひ津川に来てみてください。終わります